



Vol. 183

地域連携NEWS



猛暑の候、皆さま方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
診療科別予定表を同封しておりますので、今後とも患者さまの
ご紹介を宜しく願います。

ごあいさつ



消化器内科 医長

ごうだ きょうすけ
合田 杏佑

皆様初めまして。昨年度4月より阪南市民病院の消化器内科に赴任しました、合田
杏佑（ごうだ きょうすけ）と申します。

主に内視鏡を用いた検査や治療を担当させていただいております。現在、岩永部長
のもとで早期がんや胆石の内視鏡治療、また比較的高度な技術を要する胆膵内視鏡
治療や診断にも従事しております。また病状や患者さんの希望に応じて大学病院や
がんセンターなどの高度医療機関と連携をとりながら、より良い結果が得られるよ
うにサポートをしております。

私事ですが学生時代にマリンスポーツを嗜んでいたこともあり、病院から見えるき
れいな海の景色が好きになりました。胃カメラといえは嫌なイメージの多い検査の
一つだと思いますが、「内視鏡を用いて患者さんを幸せにしていく」をモットーに
、安全で安心して検査や治療を受けていただけるように精いっぱい頑張っていま
います。

今後も地域の先生方、患者さんの一助となれるように努めてまいりますので、何卒
よろしくお願い申し上げます。

【プロフィール】

＜役職＞医長

＜専門領域＞消化器内科



消化器内科のご紹介

診療内容

診療の中心となる内視鏡検査は順調に実施数が増加し、特に地域でニーズの高い早期癌、胆道疾患の内視鏡治療に力をいれ近隣医療機関からも多数の紹介をいただいています。早期癌の治療は内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を中心として年間100件以上施行し、現在も高い件数を維持し年々増加しています。

当院では副院長の岩永が前任の施設よりESD保険収載前の2003年から治療を開始し、当院での600件以上を含め、現在まで800件を超えるESDを自ら経験、直接指導し、食道、胃、十二指腸、大腸すべての臓器で治療を行っています。

場合によっては全身麻酔管理での治療を麻酔科医と相談し対応することにより、完全な治療体制を敷いておりますので、治療難易度が高いと言われるケースでも問題なく対応しております。もし治療のご希望やご質問があればなんでも岩永までご相談ください。



胆道疾患の診療でも内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)関連手技、EST(内視鏡的乳頭括約筋切開術)やEPBD(内視鏡的乳頭バルーン拡張術)、EBS(内視鏡的胆道ステント術)も年々増加し、合わせて200件前後の処置を行い、2020年度は300件を越える件数の治療をしています。他にもニーズの多い胃瘻造設や、消化管出血に対する止血術や静脈瘤治療も積極的に行っています。



内視鏡処置不能な場合にも経皮的胆道ドレナージに加え、超音波内視鏡(EUS)を使用した処置を行い、専門的なEUSは定期的に指導的な施設の医師による検査体制も整えています。肝臓疾患については、肝臓専門医体制による診療を行い、必要に応じて肝生検などで診断しウイルス性肝炎、原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎、NASH(非アルコール性肝炎)など、抗ウイルス療法を始め種々の治療に繋がっています。また、肝臓癌に対し放射線科と連携しTACE(経カテーテル的肝動脈化学塞栓術)、RFA(経皮的ラジオ波焼灼術)など局所治療も積極的に行い、年々実施数を伸ばしています。

社会医療法人生長会 阪南市民病院 地域連携室

(直通) TEL 072-471-3020 FAX 072-471-3977

受付時間 午前8:45～午後6:00 ※土曜日は午後0:30までとなります



～ 阪南市民病院 基本方針 ～

全人的な医療を通して 人々が自分らしく生きることにつながる病院
「やさしい」「ていねい」「あったかい」医療を提供する

